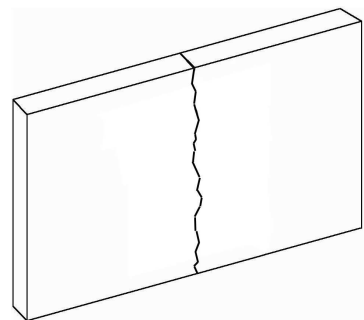


STEP 1

テープ接着面平滑仕上

前工程 既存クマ・塗膜剥し
既存目地処理剥離

最重要 ● 粉パテ使用の場合、研磨完全除去!!
● テープ接着面平滑研磨



テープ接着面当てペーパー掛け後～1液形変性エポキシ樹脂シーラー塗布
塗幅：80～100mm
粉パテの残留は、引き起こしの原因

注意 テープ接着面に凸凹が生じた場合

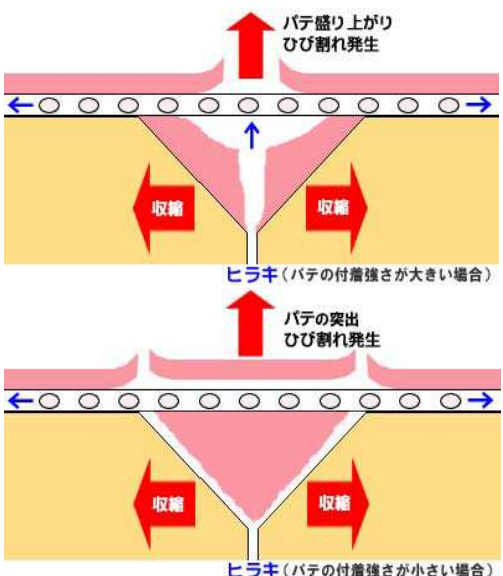
NONCRA® C仕上用パテ手滑仕上

しごき仕上 4号ヘラ使用 乾燥：2時間

● ノンペーパー

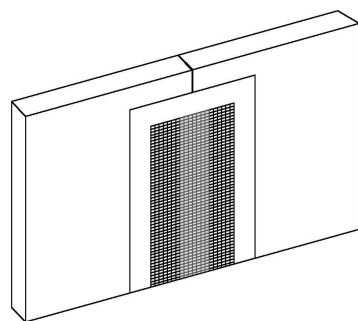
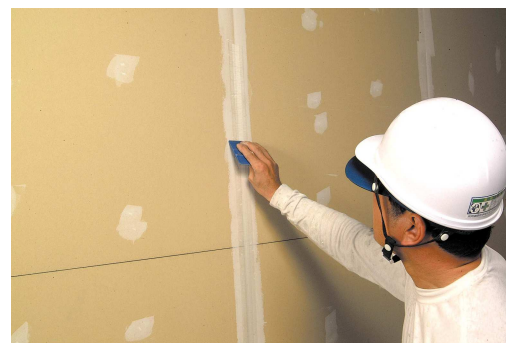
標準使用量：1,500m/12Kg缶：10L

乾燥：3時間以上確保



STEP 2

NONCRA® P・E テープ貼着



1回目 "NONCRAテーププライマー"塗布の上
手貼で継目中心に命中仮貼

- テープをたるませるとパテが割れます。
- 接着面の粗面、粉吹、湿り気は貼着禁止

2回目 テープ本貼～離けい紙剥し
専用フィルム用ヘラでしごき圧着

- 警告 ● 金ヘラ押えはテープが密着しません。
- 離けい紙剥離後の接着手抜きはテープのミミにひび割れ、浮きがでます。
 - テープのシワはしごき取ってください。

● 「ステンレスばね鋼帯入テープの上手な貼り方」参照

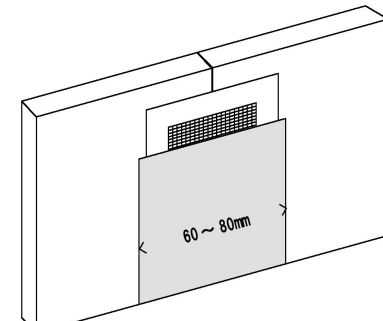
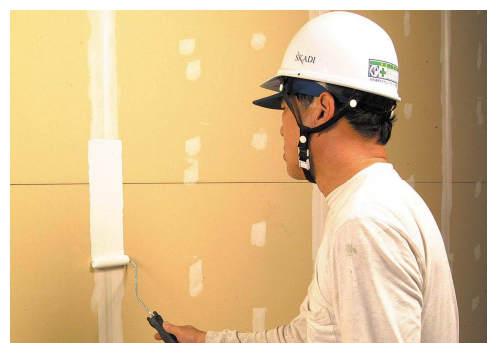
3回目 テープ ステンレス帯板両耳タッカー留付
5cm間隔



塗板手順

STEP 3

NONCRA® テープ接着



弾性下地処理材塗
ウルタ短毛ミニローラー2～3インチ使用

目的：吸込止め全面塗削減、テープの付着力強化と隠ぺい、ミミ割れ・ひび割れ防止

1回目 NONCRA®弾性球キ樹脂塗

2液反応速硬化、弾性引張伸び率110%
塗幅：テープ上 60～70mm
完全ヘラしごき取り

標準使用量：50m/主剤250g+硬化剤250g

- 乾燥時間：1日以上厳守
- 硬化促進：1分以上強く攪拌し発熱させ～硬化開始まで練置き～塗布開始

警告 ● エポキシ樹脂硬化前に塗料・パテを塗るとカメノコ状亀裂が入る!!
● ミミを出さない。

● 「球キ樹脂の取扱方法」参照

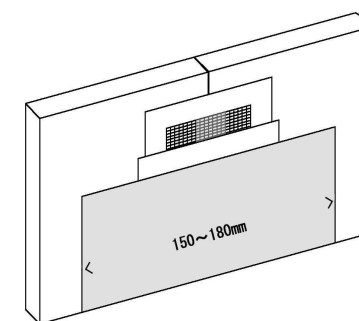
2回目 NONCRA®弾性コート

無希釈 乾燥：夏季2時間以上乾燥確認

- ローラーの両耳は霧吹き状仕上げ
乾燥前にパテを塗るとカメノコ状亀裂が入る!!
- ミミを出さない。

STEP 4

仕上パテ塗



しごき仕上げ

NONCRA® C仕上用パテ塗

150～180mmヘラ (ステンレススーパーシルバー) 使用

塗幅 150mm～180mm 乾燥時間：2時間以上

標準使用量：600m/12Kg缶：10L

平均塗厚：0.05～0.1mm (20g/m～35g/m)

- ガラスクロスが見え隠れする程度
- 厚付け厳禁 パテ割れの原因

“NONCRA®ひび割れ補修手順”について

本目地処理工法は、従来にないテープの強度と接着方式により、接合部の補強効果を発揮しますが、ひび割れが発生しないことを保証するものではありません。
“ひび割れ”が生じた結果について、弊社はその責は一切負いかねますので、あらかじめご了承の上ご使用下さい。

注意

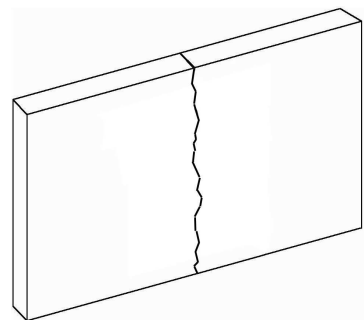
1. テープは粘着剤付きですが、接着強化にNONCRA®テーププライマーを塗布の上貼着して下さい。
2. 使用するパテは下地との付着強さとヤセを考慮し、専用のNONCRA®C特性厚付用パテ、NONCRA®C仕上用パテを使用して下さい。
3. V目地のパテヤセを無くし、平滑仕上げ後にテープを貼着して下さい。
パテヤセを残したままテープを貼ると、テープ上のパテが筋状にフクレひび割れが出てしまいます。
4. テープ上は下地とのテープの固着強化、目地処理跡の隠ぺい、パテかきの作業性向上を兼ねNONCRA®弾性コート、NONCRA®Eボコート塗布して下さい。
5. テープ上のパテの厚付けは、塗られたパテのひび割れの原因となります。
6. 以下の場合、標準工程に追加してください。
①塩化ビニール樹脂エマルジョン仕上の場合、Step5の後で下地全面に変性エポキシシーラーを塗布してから仕上げして下さい。
②C.I.工法や硬質プラスターボード並びに1枚貼の横目地、未洗下地、木部、コンクリートとボードの取合

STEP 1

テープ接着面平滑仕上

前工程 既存クマ・塗膜剥し
既存目地処理剥離

最重要 ● 粉パテ使用の場合、研磨完全除去!!
● テープ接着面平滑研磨



テープ接着面当てペーパー掛け後～1液形変性エポキシ樹脂シーラー塗布
塗幅：80～100mm
粉パテの残留は、引き起こしの原因

注意 テープ接着面に凸凹が生じた場合

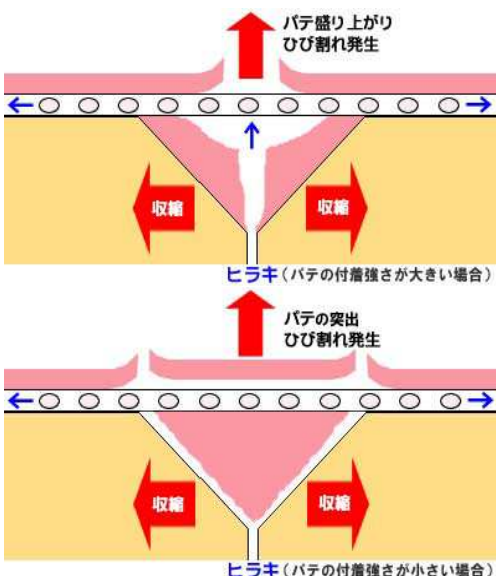
NONCRA® C仕上用パテ手滑仕上

しごき仕上 4号ヘラ使用 乾燥：2時間

● ノンペーパー

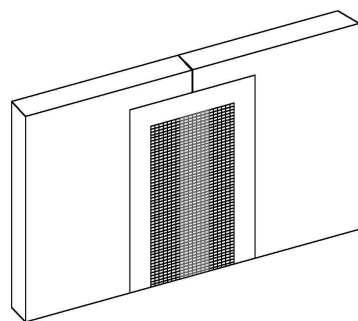
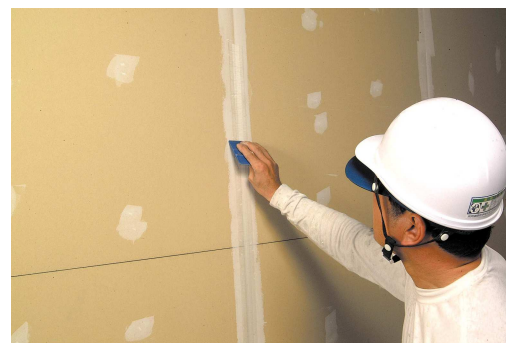
標準使用量：1,500m/12Kg缶：10L

乾燥：3時間以上確保



STEP 2

NONCRA® P・E テープ貼着



1回目 "NONCRA® プライマー" 塗布の上
手貼で継目中心に命中仮貼

- テープをたるませるとパテが割れます。
- 接着面の粗面、粉吹、湿り気は貼着禁止

2回目 テープ本貼～離けい紙剥し
専用フィルム用ヘラでしごき圧着

- 警告 ● 金ヘラ押えはテープが密着しません。
- 離けい紙剥離後の接着手抜きはテープのミミにひび割れ、浮きがでます。
 - テープのシワはしごき取ってください。

● 「ステンレスばね鋼帯入テープの上手な貼り方」参照

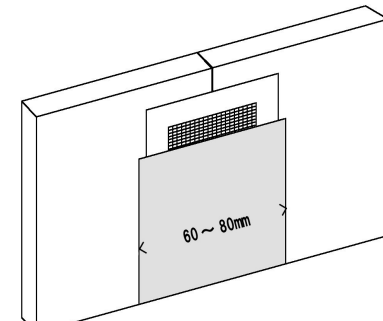
3回目 テープ ステンレス帯板両耳タッカー留付
5cm間隔



塗板手順

STEP 3

NONCRA® テープ接着



弾性下地処理材塗

ウルタ短毛ミローラー2～3インチ使用

目的：吸込止め全面塗削減、テープの付着力強化と隠ぺい、ミミ割れ・ひび割れ防止

1回目 NONCRA® 弾性球キ樹脂塗

2液反応速硬化、弾性引張伸び率110%

塗幅：テープ上 60～70mm

完全ヘラしごき取り

標準使用量：50m/主剤250g+硬化剤250g

● 乾燥時間：1日以上厳守

● 硬化促進：1分以上強く攪拌し発熱させ
～硬化開始まで練置き～塗布開始

- 警告 ● エポキシ樹脂硬化前に塗料・パテを塗るとカメノコ状亀裂が入る!!
- ミミを出さない。

● 「球キ樹脂の取扱方法」参照

2回目 NONCRA® 弾性コート

無希釈 乾燥：夏季2時間以上乾燥確認

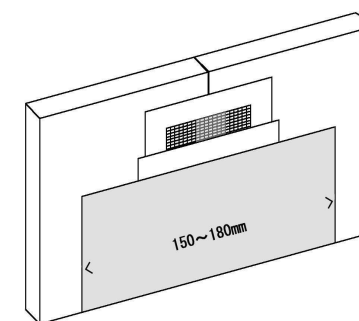
● ローラーの両耳は霧吹き状仕上げ

乾燥前にパテを塗るとカメノコ状亀裂が入る!!

● ミミを出さない。

STEP 4

仕上パテ塗



しごき仕上げ

NONCRA® C仕上用パテ塗

150～180mmヘラ (ステンレススーパーシルバー) 使用

塗幅 150mm～180mm 乾燥時間：2時間以上

標準使用量：600m/12Kg缶：10L

平均塗厚：0.05～0.1mm (20g/m～35g/m)

- ガラスクロスが見え隠れする程度
- 厚付け厳禁 パテ割れの原因

"NONCRA® ひび割れ補修手順"について

本目地処理工法は、従来にないテープの強度と接着方式により、接合部の補強効果を発揮しますが、ひび割れが発生しないことを保証するものではありません。
“ひび割れ”が生じた結果について、弊社はその責は一切負いかねますので、あらかじめご了承の上ご使用下さい。

● 注意

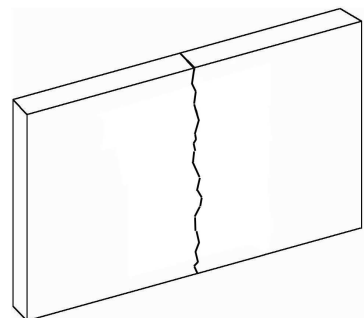
1. テープは粘着剤付きですが、接着強化にNONCRA® テーププライマーを塗布の上貼着して下さい。
2. 使用するパテは下地との付着強さとヤセを考慮し、専用のNONCRA® C特性厚付用パテ、NONCRA® C仕上用パテを使用して下さい。
3. V目地のパテヤセを無くし、平滑仕上げ後にテープを貼着して下さい。
パテヤセを残したままテープを貼ると、テープ上のパテが筋状にフクレひび割れが出てしまいます。
4. テープ上は下地とのテープの固着強化、目地処理跡の隠ぺい、パテかきの作業性向上を兼ねNONCRA® 弾性コート、NONCRA® エポコートを塗布して下さい。
5. テープ上のパテの厚付けは、塗られたパテのひび割れの原因となります。
6. 以下の場合、標準工程に追加してください。
①塩化ビニール樹脂エマルジョン仕上の場合、Step5の後で下地全面に変性エポキシシーラーを塗布してから仕上げして下さい。
②G.I.工法や硬質プラスターボード並びに1枚貼の横目地、未洗下地、木部、コンクリートとボードの取合

STEP 1

テープ接着面平滑仕上

前工程 既存クマ・塗膜剥し
既存目地処理剥離

最重要 ● 粉パテ使用の場合、研磨完全除去!!
● テープ接着面平滑研磨



テープ接着面当てペーパー掛け後～1液形変性エポキシ樹脂シーラー塗布
塗幅：80～100mm
粉パテの残留は、引き起こしの原因

注意 テープ接着面に凸凹が生じた場合

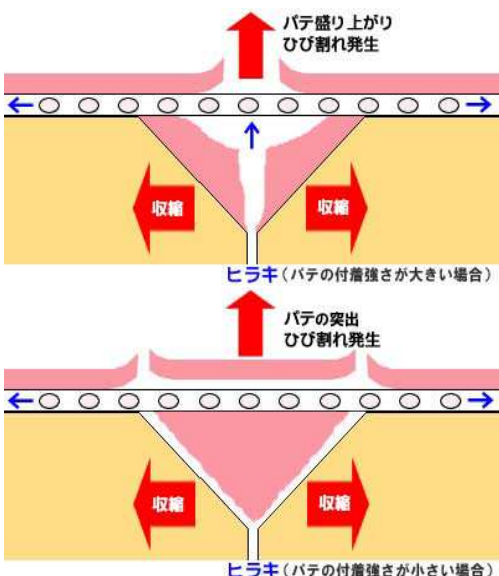
NONCRA® C仕上用パテ手滑仕上

しごき仕上 4号ヘラ使用 乾燥：2時間

● ノンペーパー

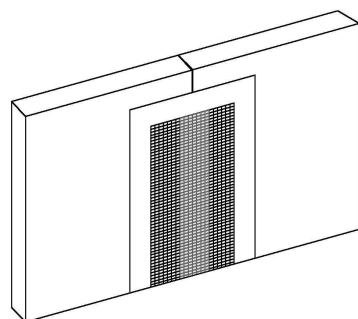
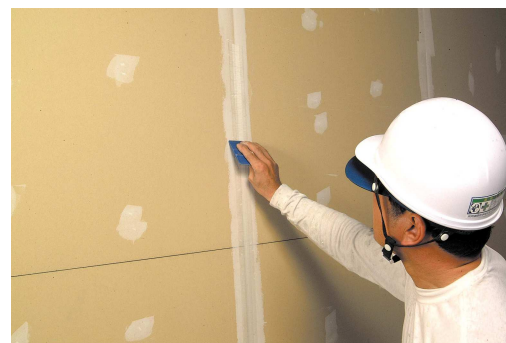
標準使用量：1,500m/12Kg缶：10L

乾燥：3時間以上確保



STEP 2

NONCRA® P・E テープ貼着



1回目 "NONCRA® プライマー" 塗布の上
手貼で継目中心に命中仮貼

- テープをたるませるとパテが割れます。
- 接着面の粗面、粉吹、湿り気は貼着禁止

2回目 テープ本貼～離けい紙剥し
専用フィルム用ヘラでしごき圧着

- 警告 ● 金ヘラ押えはテープが密着しません。
- 離けい紙剥離後の接着手抜きはテープのミミにひび割れ、浮きがでます。
 - テープのシワはしごき取ってください。

● 「ステンレスばね鋼帯入テープの上手な貼り方」参照

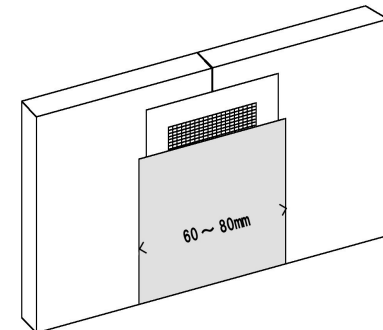
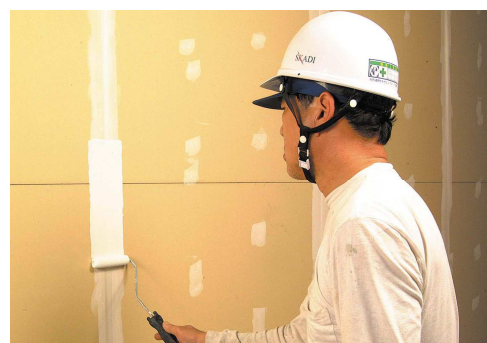
3回目 テープ ステンレス帯板両耳タッカー留付
5cm間隔



塗板手順

STEP 3

NONCRA® テープ接着



弾性下地処理材塗

ウレタン短毛ローラー2～3インチ使用

目的：吸込止め全面塗削減、テープの付着力強化と隠ぺい、ミミ割れ・ひび割れ防止

1回目 NONCRA® 弾性球キ樹脂塗

2液反応速硬化、弾性引張伸び率110%

塗幅：テープ上 60～70mm

完全ヘラしごき取り

標準使用量：50m/主剤250g+硬化剤250g

● 乾燥時間：1日以上厳守

● 硬化促進：1分以上強く攪拌し発熱させ
～硬化開始まで練置き～塗布開始

- 警告 ● エポキシ樹脂硬化前に塗料・パテを塗るとカメノコ状亀裂が入る!!
- ミミを出さない。
 - 「球キ樹脂の取扱方法」参照

2回目 NONCRA® 弾性コート

無希釈 乾燥：夏季2時間以上乾燥確認

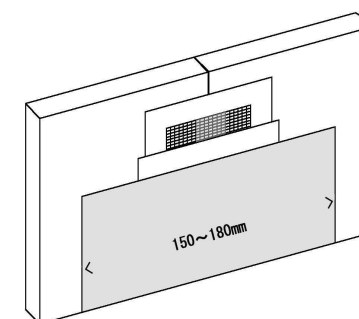
● ローラーの両耳は霧吹き状仕上げ

乾燥前にパテを塗るとカメノコ状亀裂が入る!!

● ミミを出さない。

STEP 4

仕上パテ塗



しごき仕上げ

NONCRA® C仕上用パテ塗

150～180mmヘラ (ステンレススーパーシルバー) 使用

塗幅 150mm～180mm 乾燥時間：2時間以上

標準使用量：600m/12Kg缶：10L

平均塗厚：0.05～0.1mm (20g/m～35g/m)

- ガラスクロスが見え隠れする程度
- 厚付け厳禁 パテ割れの原因

“NONCRA® ひび割れ補修手順”について

本目地処理工法は、従来にないテープの強度と接着方式により、接合部の補強効果を発揮しますが、ひび割れが発生しないことを保証するものではありません。
“ひび割れ”が生じた結果について、弊社はその責は一切負いかねますので、あらかじめご了承の上ご使用下さい。

● 注意

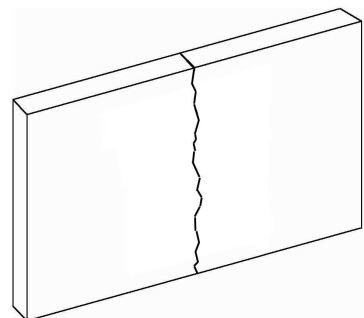
1. テープは粘着剤付きですが、接着強化にNONCRA® テーププライマーを塗布の上貼着して下さい。
2. 使用するパテは下地との付着強さとヤセを考慮し、専用のNONCRA® C特性厚付用パテ、NONCRA® C仕上用パテを使用して下さい。
3. V目地のパテヤセを無くし、平滑仕上げ後にテープを貼着して下さい。
パテヤセを残したままテープを貼ると、テープ上のパテが筋状にフクレひび割れが出てしまいます。
4. テープ上は下地とのテープの固着強化、目地処理跡の隠ぺい、パテかきの作業性向上を兼ねNONCRA® 弾性コート、NONCRA® エポコートを塗布して下さい。
5. テープ上のパテの厚付けは、塗られたパテのひび割れの原因となります。
6. 以下の場合、標準工程に追加してください。
①塩化ビニール樹脂エマル仕上の場合、Step5の後で下地全面に変性エポキシシーラーを塗布してから仕上げして下さい。
②G.I.工法や硬質プラスターボード並びに1枚貼の横目地、未洗下地、木部、コンクリートとボードの取合

STEP 1

テープ接着面平滑仕上

前工程 既存クマ・塗膜剥し
既存目地処理剥離

最重要 ● 粉パテ使用の場合、研磨完全除去!!
● テープ接着面平滑研磨



テープ接着面当てペーパー掛け後～1液形変性エポキシ樹脂シーラー塗布
塗幅：80～100mm
粉パテの残留は、引き起こしの原因

注意 テープ接着面に凸凹が生じた場合

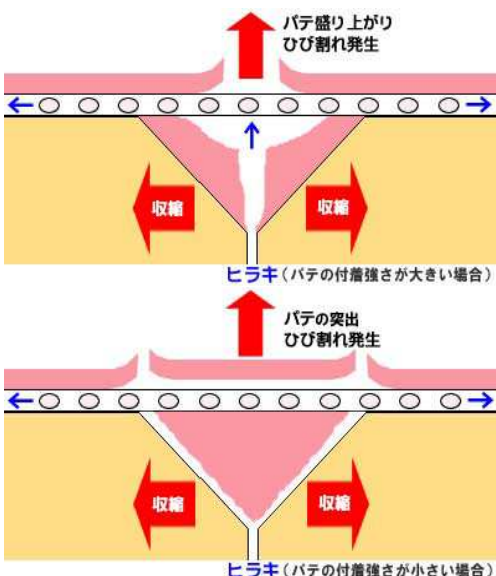
NONCRA® C仕上用パテ手滑仕上

しごき仕上 4号ヘラ使用 乾燥：2時間

● ノンペーパー

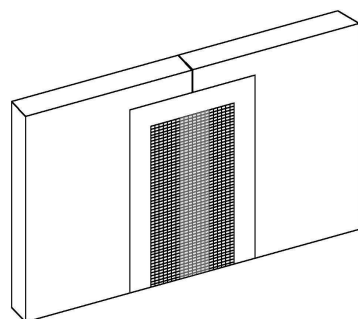
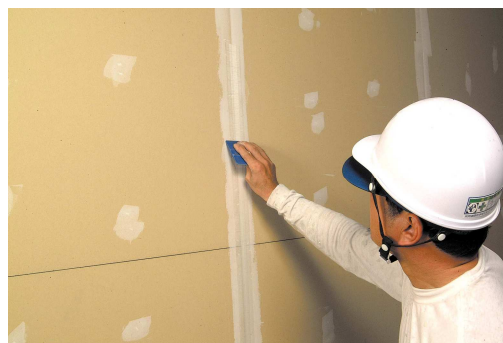
標準使用量：1,500m/12Kg缶：10L

乾燥：3時間以上確保



STEP 2

NONCRA® P・E テープ貼着



1回目 "NONCRA® プライマー" 塗布の上
手貼で継目中心に命中仮貼

- テープをたるませるとパテが割れます。
- 接着面の粗面、粉吹、湿り気は貼着禁止

2回目 テープ本貼～離けい紙剥し
専用フィルム用ヘラでしごき圧着

- 警告 ● 金ヘラ押しはテープが密着しません。
- 離けい紙剥離後の接着手抜きはテープのミミにひび割れ、浮きがでます。
 - テープのシワはしごき取ってください。

● 「ステンレスばね鋼帯入テープの上手な貼り方」参照

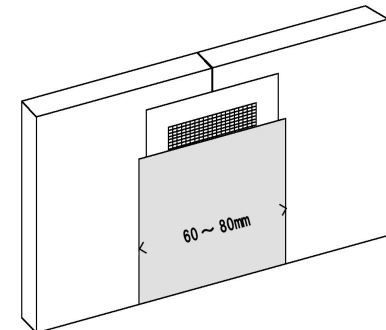
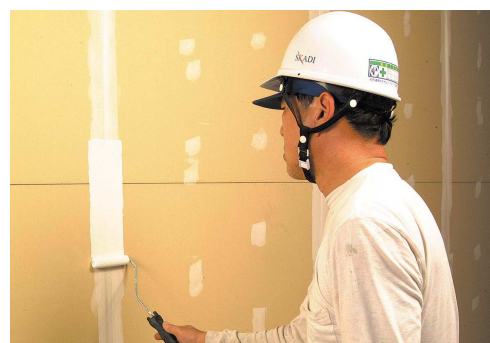
3回目 テープ ステンレス帯板両耳タッカー留付
5cm間隔



塗板手順

STEP 3

NONCRA® テープ接着



弾性下地処理材塗

ウルタ短毛ミニローラー2～3インチ使用

目的：吸込止め全面塗削減、テープの付着力強化と隠ぺい、ミミ割れ・ひび割れ防止

1回目 NONCRA® 弾性球キ樹脂塗

2液反応速硬化、弾性引張伸び率110%

塗幅：テープ上 60～70mm

完全ヘラしごき取り

標準使用量：50m/主剤250g+硬化剤250g

● 乾燥時間：1日以上厳守

● 硬化促進：1分以上強く攪拌し発熱させ
～硬化開始まで練置き～塗布開始

- 警告 ● エポキシ樹脂硬化前に塗料・パテを塗るとカメノコ状亀裂が入る!!
- ミミを出さない。

● 「球キ樹脂の取扱方法」参照

2回目 NONCRA® 弾性コート

無希釈 乾燥：夏季2時間以上乾燥確認

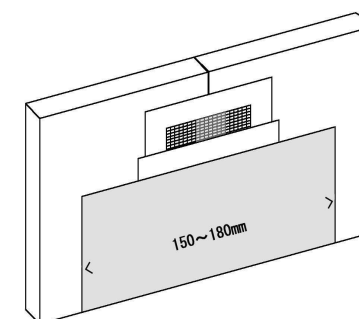
● ローラーの両耳は霧吹き状仕上げ

乾燥前にパテを塗るとカメノコ状亀裂が入る!!

● ミミを出さない。

STEP 4

仕上パテ塗



しごき仕上げ

NONCRA® C仕上用パテ塗

150～180mmヘラ (ステンレススーパーシルバー) 使用

塗幅 150mm～180mm 乾燥時間：2時間以上

標準使用量：600m/12Kg缶：10L

平均塗厚：0.05～0.1mm (20g/m～35g/m)

- ガラスクロスが見え隠れする程度
- 厚付け厳禁 パテ割れの原因

“NONCRA® ひび割れ補修手順”について

本目地処理工法は、従来にないテープの強度と接着方式により、接合部の補強効果を発揮しますが、ひび割れが発生しないことを保証するものではありません。
“ひび割れ”が生じた結果について、弊社はその責は一切負いかねますので、あらかじめご了承の上ご使用下さい。

● 注意

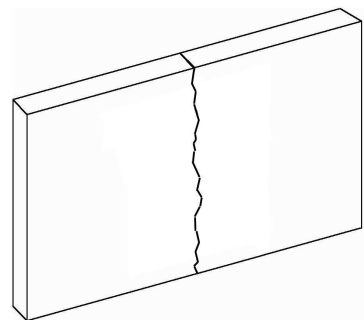
1. テープは粘着剤付きですが、接着強化にNONCRA® テーププライマーを塗布の上貼着して下さい。
2. 使用するパテは下地との付着強さとヤセを考慮し、専用のNONCRA® C特性厚付用パテ、NONCRA® C仕上用パテを使用して下さい。
3. V目地のパテヤセを無くし、平滑仕上げ後にテープを貼着して下さい。
パテヤセを残したままテープを貼ると、テープ上のパテが筋状にフクレひび割れが出てしまいます。
4. テープ上は下地とのテープの固着強化、目地処理跡の隠ぺい、パテかきの作業性向上を兼ねNONCRA® 弾性コート、NONCRA® エポコート塗布して下さい。
5. テープ上のパテの厚付けは、塗られたパテのひび割れの原因となります。
6. 以下の場合、標準工程に追加してください。
①塩化ビニール樹脂エマルジョン仕上の場合、Step5の後で下地全面に変性エポキシシーラーを塗布してから仕上げして下さい。
②G.I.工法や硬質プラスターボード並びに1枚貼の横目地、未洗下地、木部、コンクリートとボードの取合

STEP 1

テープ接着面平滑仕上

前工程 既存クマ・塗膜剥し
既存目地処理剥離

最重要 ● 粉パテ使用の場合、研磨完全除去!!
● テープ接着面平滑研磨



テープ接着面当てペーパー掛け後～1液形変性エポキシ樹脂シーラー塗布
塗幅：80～100mm
粉パテの残留は、引き起こしの原因

注意 テープ接着面に凸凹が生じた場合

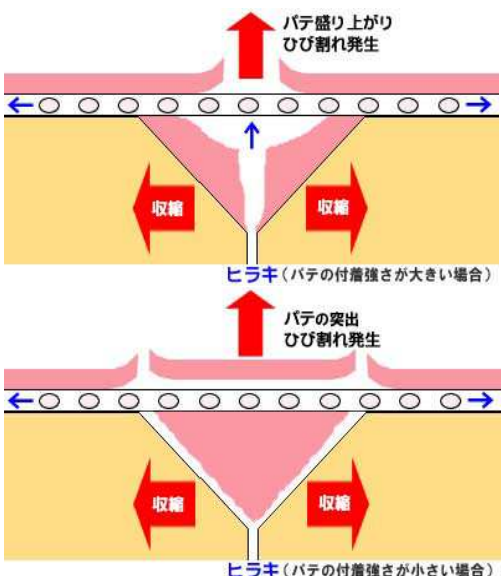
NONCRA® C仕上用パテ手滑仕上

しごき仕上 4号ヘラ使用 乾燥：2時間

● ノンペーパー

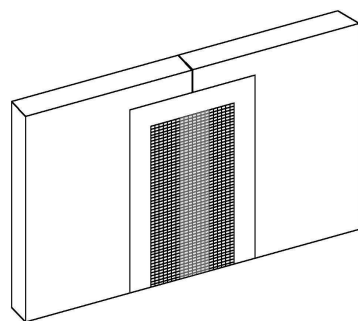
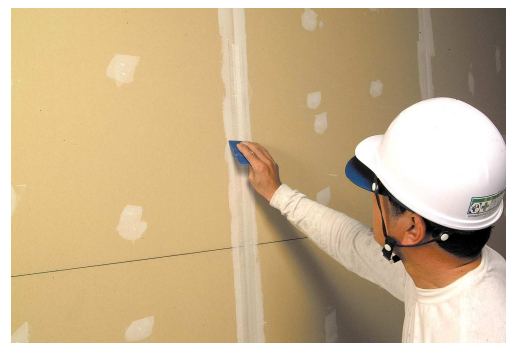
標準使用量：1,500m/12Kg缶：10L

乾燥：3時間以上確保



STEP 2

NONCRA® P・E テープ貼着



1回目 "NONCRA® プライマー" 塗布の上
手貼で継目中心に命中仮貼

- テープをたるませるとパテが割れます。
- 接着面の粗面、粉吹、湿り気は貼着禁止

2回目 テープ本貼～離けい紙剥し
専用フィルム用ヘラでしごき圧着

- 警告 ● 金ヘラ押えはテープが密着しません。
- 離けい紙剥離後の接着手抜きはテープのミミにひび割れ、浮きがでます。
 - テープのシワはしごき取ってください。

● 「ステンレスばね鋼帯入テープの上手な貼り方」参照

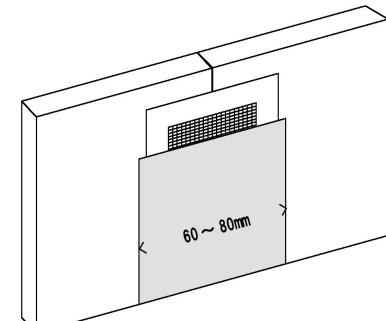
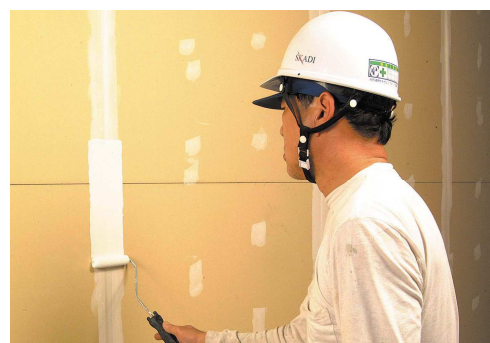
3回目 テープ ステンレス帯板両耳タッカー留付
5cm間隔



塗板手順

STEP 3

NONCRA® テープ接着



弾性下地処理材塗

ウルタ短毛ミローラー2～3インチ使用

目的：吸込止め全面塗削減、テープの付着力強化と隠ぺい、ミミ割れ・ひび割れ防止

1回目 NONCRA® 弾性球キ樹脂塗

2液反応速硬化、弾性引張伸び率110%

塗幅：テープ上 60～70mm

完全ヘラしごき取り

標準使用量：50m/主剤250g+硬化剤250g

● 乾燥時間：1日以上厳守

● 硬化促進：1分以上強く攪拌し発熱させ
～硬化開始まで練置き～塗布開始

- 警告 ● エポキシ樹脂硬化前に塗料・パテを塗るとカメノコ状亀裂が入る!!
- ミミを出さない。
 - 「球キ樹脂の取扱方法」参照

2回目 NONCRA® 弾性コート

無希釈 乾燥：夏季2時間以上乾燥確認

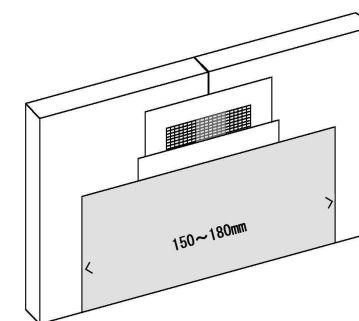
● ローラーの両耳は霧吹き状仕上げ

乾燥前にパテを塗るとカメノコ状亀裂が入る!!

● ミミを出さない。

STEP 4

仕上パテ塗



しごき仕上げ

NONCRA® C仕上用パテ塗

150～180mmヘラ (ステンレススーパーシルバー) 使用

塗幅 150mm～180mm 乾燥時間：2時間以上

標準使用量：600m/12Kg缶：10L

平均塗厚：0.05～0.1mm (20g/m～35g/m)

- ガラスクロスが見え隠れする程度
- 厚付け厳禁 パテ割れの原因

“NONCRA® ひび割れ補修手順”について

本目地処理工法は、従来にないテープの強度と接着方式により、接合部の補強効果を発揮しますが、ひび割れが発生しないことを保証するものではありません。
“ひび割れ”が生じた結果について、弊社はその責は一切負いかねますので、あらかじめご了承の上ご使用下さい。

● 注意

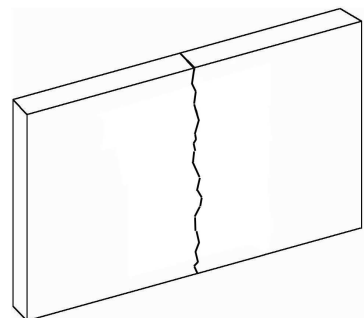
1. テープは粘着剤付きですが、接着強化にNONCRA® テーププライマーを塗布の上貼着して下さい。
2. 使用するパテは下地との付着強さとヤセを考慮し、専用のNONCRA® C特性厚付用パテ、NONCRA® C仕上用パテを使用して下さい。
3. V目地のパテヤセを無くし、平滑仕上げ後にテープを貼着して下さい。
パテヤセを残したままテープを貼ると、テープ上のパテが筋状にフクレひび割れが出てしまいます。
4. テープ上は下地とのテープの固着強化、目地処理跡の隠ぺい、パテかひの作業性向上を兼ねNONCRA® 弾性コート、NONCRA® エポコート塗布して下さい。
5. テープ上のパテの厚付けは、塗られたパテのひび割れの原因となります。
6. 以下の場合、標準工程に追加してください。
①塩化ビニール樹脂エマルジョン仕上の場合、Step5の後で下地全面に変性エポキシシーラーを塗布してから仕上げして下さい。
②G.I.工法や硬質プラスターボード並びに1枚貼の横目地、未洗下地、木部、コンクリートとボードの取合

STEP 1

テープ接着面平滑仕上

前工程 既存クマ・塗膜剥し
既存目地処理剥離

最重要 ● 粉パテ使用の場合、研磨完全除去!!
● テープ接着面平滑研磨



テープ接着面当てペーパー掛け後～1液形変性エポキシ樹脂シーラー塗布
塗幅：80～100mm
粉パテの残留は、引き起こしの原因

注意 テープ接着面に凸凹が生じた場合

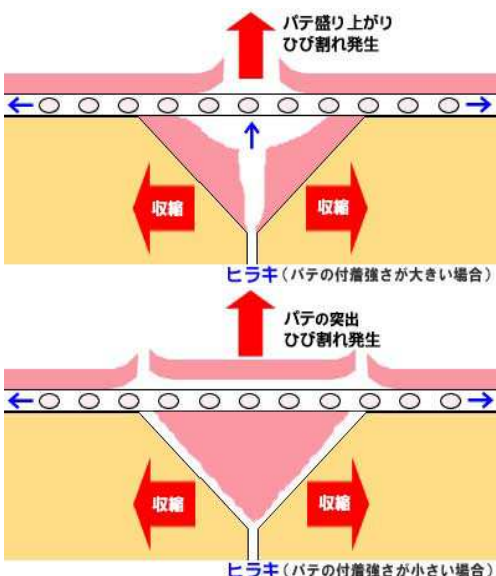
NONCRA® C仕上用パテ手滑仕上

しごき仕上 4号ヘラ使用 乾燥：2時間

● ノンペーパー

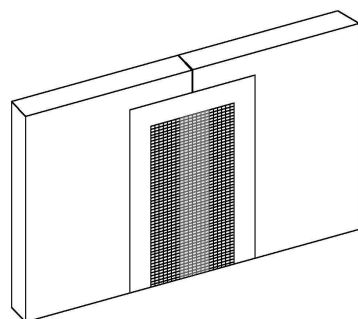
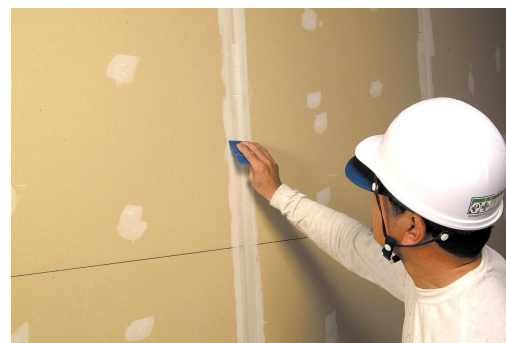
標準使用量：1,500m/12Kg缶：10L

乾燥：3時間以上確保



STEP 2

NONCRA® P・E テープ貼着



1回目 "NONCRA® プライマー" 塗布の上
手貼で継目中心に命中仮貼

- テープをたるませるとパテが割れます。
- 接着面の粗面、粉吹、湿り気は貼着禁止

2回目 テープ本貼～離けい紙剥し
専用フィルム用ヘラでしごき圧着

- 警告 ● 金ヘラ押しはテープが密着しません。
- 離けい紙剥離後の接着手抜きはテープのミミにひび割れ、浮きがでます。
 - テープのシワはしごき取ってください。

● 「ステンレスばね鋼帯入テープの上手な貼り方」参照

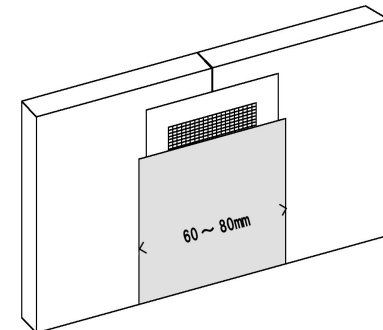
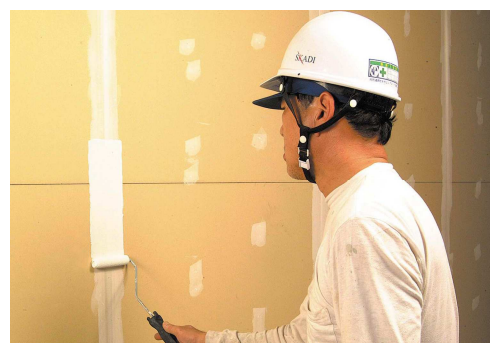
3回目 テープ ステンレス帯板両耳タッカー留付
5cm間隔



塗板手順

STEP 3

NONCRA® テープ接着



弾性下地処理材塗

ウルタ短毛ミニローラー2～3インチ使用

目的：吸込止め全面塗削減、テープの付着力強化と隠ぺい、ミミ割れ・ひび割れ防止

1回目 NONCRA® 弾性球キ樹脂塗

2液反応速硬化、弾性引張伸び率110%

塗幅：テープ上 60～70mm

完全ヘラしごき取り

標準使用量：50m/主剤250g+硬化剤250g

● 乾燥時間：1日以上厳守

● 硬化促進：1分以上強く攪拌し発熱させ
～硬化開始まで練置き～塗布開始

- 警告 ● エポキシ樹脂硬化前に塗料・パテを塗るとカメノコ状亀裂が入る!!
- ミミを出さない。
 - 「球キ樹脂の取扱方法」参照

2回目 NONCRA® 弾性コート

無希釈 乾燥：夏季2時間以上乾燥確認

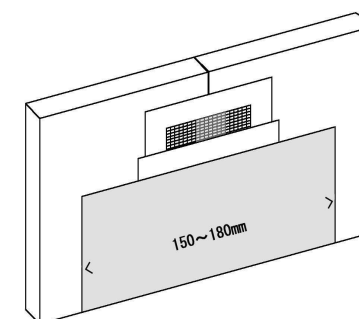
● ローラーの両耳は霧吹き状仕上げ

乾燥前にパテを塗るとカメノコ状亀裂が入る!!

● ミミを出さない。

STEP 4

仕上パテ塗



しごき仕上げ

NONCRA® C仕上用パテ塗

150～180mmヘラ (㊦ステンレススーパーシルバー) 使用

塗幅 150mm～180mm 乾燥時間：2時間以上

標準使用量：600m/12Kg缶：10L

平均塗厚：0.05～0.1mm (20g/m～35g/m)

- ガラスクロスが見え隠れする程度
- 厚付け厳禁 パテ割れの原因

"NONCRA® ひび割れ補修手順"について

本目地処理工法は、従来にないテープの強度と接着方式により、接合部の補強効果を発揮しますが、ひび割れが発生しないことを保証するものではありません。
“ひび割れ”が生じた結果について、弊社はその責は一切負いかねますので、あらかじめご了承の上ご使用下さい。

● 注意

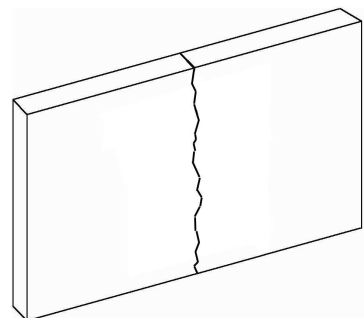
1. テープは粘着剤付きですが、接着強化にNONCRA® テーププライマーを塗布の上貼着して下さい。
2. 使用するパテは下地との付着強さとヤセを考慮し、専用のNONCRA® C特性厚付用パテ、NONCRA® C仕上用パテを使用して下さい。
3. V目地のパテヤセを無くし、平滑仕上げ後にテープを貼着して下さい。
パテヤセを残したままテープを貼ると、テープ上のパテが筋状にフクレひび割れが出てしまいます。
4. テープ上は下地とのテープの固着強化、目地処理跡の隠ぺい、パテかひの作業性向上を兼ねNONCRA® 弾性コート、NONCRA® エポコート塗布して下さい。
5. テープ上のパテの厚付けは、塗られたパテのひび割れの原因となります。
6. 以下の場合、標準工程に追加してください。
①塩化ビニール樹脂エマルジョン仕上の場合、Step5の後で下地全面に変性エポキシシーラーを塗布してから仕上げして下さい。
②G.I.工法や硬質プラスターボード並びに1枚貼の横目地、未洗下地、木部、コンクリートとボードの取合

STEP 1

テープ接着面平滑仕上

前工程 既存クマ・塗膜剥し
既存目地処理剥離

最重要 ● 粉パテ使用の場合、研磨完全除去!!
● テープ接着面平滑研磨



テープ接着面当てペーパー掛け後～1液形変性エポキシ樹脂シーラー塗布
塗幅：80～100mm
粉パテの残留は、引き起こしの原因

注意 テープ接着面に凸凹が生じた場合

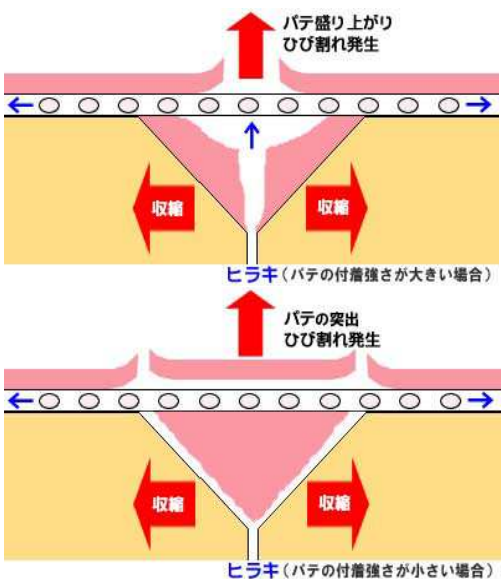
NONCRA® C仕上用パテ手滑仕上

しごき仕上 4号ヘラ使用 乾燥：2時間

● ノンペーパー

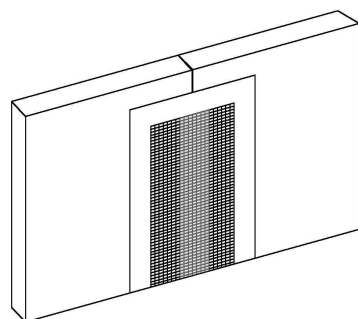
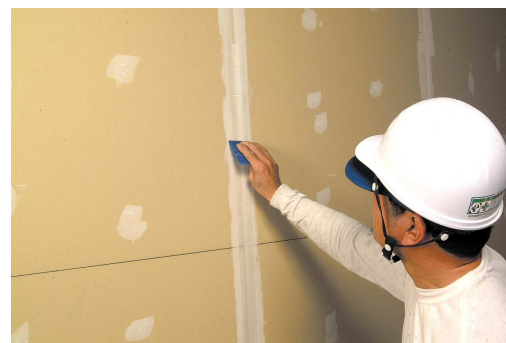
標準使用量：1,500m/12Kg缶：10L

乾燥：3時間以上確保



STEP 2

NONCRA® P・E テープ貼着



1回目 "NONCRA® プライマー" 塗布の上
手貼で継目中心に命中仮貼

- テープをたるませるとパテが割れます。
- 接着面の粗面、粉吹、湿り気は貼着禁止

2回目 テープ本貼～離けい紙剥し
専用フィルム用ヘラでしごき圧着

- 警告 ● 金ヘラ押しはテープが密着しません。
- 離けい紙剥離後の接着手抜きはテープのミミにひび割れ、浮きがでます。
 - テープのシワはしごき取ってください。

● 「ステンレスばね鋼帯入テープの上手な貼り方」参照

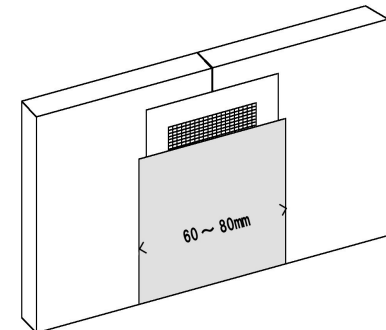
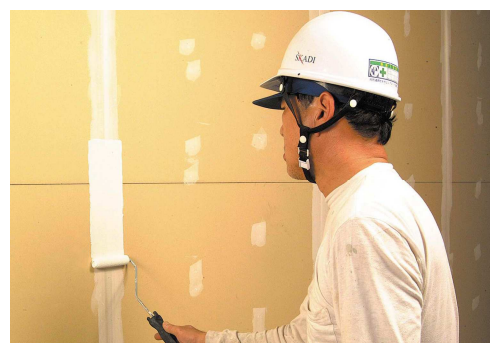
3回目 テープ ステンレス帯板両耳タッカー留付
5cm間隔



塗板手順

STEP 3

NONCRA® テープ接着



弾性下地処理材塗

ウルタ短毛ミニローラー2～3インチ使用

目的：吸込止め全面塗削減、テープの付着力強化と隠ぺい、ミミ割れ・ひび割れ防止

1回目 NONCRA® 弾性球キ樹脂塗

2液反応速硬化、弾性引張伸び率110%

塗幅：テープ上 60～70mm

完全ヘラしごき取り

標準使用量：50m/主剤250g+硬化剤250g

● 乾燥時間：1日以上厳守

● 硬化促進：1分以上強く攪拌し発熱させ
～硬化開始まで練置き～塗布開始

- 警告 ● エポキシ樹脂硬化前に塗料・パテを塗るとカメノコ状亀裂が入る!!
- ミミを出さない。

● 「球キ樹脂の取扱方法」参照

2回目 NONCRA® 弾性コート

無希釈 乾燥：夏季2時間以上乾燥確認

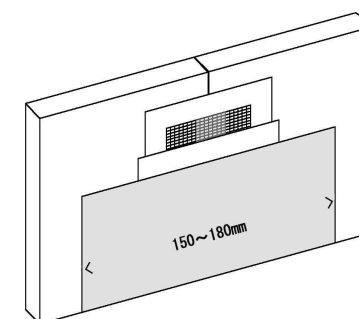
● ローラーの両耳は霧吹き状仕上げ

乾燥前にパテを塗るとカメノコ状亀裂が入る!!

● ミミを出さない。

STEP 4

仕上パテ塗



しごき仕上げ

NONCRA® C仕上用パテ塗

150～180mmヘラ (ステンレススーパーシルバー) 使用

塗幅 150mm～180mm 乾燥時間：2時間以上

標準使用量：600m/12Kg缶：10L

平均塗厚：0.05～0.1mm (20g/m～35g/m)

- ガラスクロスが見え隠れする程度
- 厚付け厳禁 パテ割れの原因

"NONCRA® ひび割れ補修手順"について

本目地処理工法は、従来にないテープの強度と接着方式により、接合部の補強効果を発揮しますが、ひび割れが発生しないことを保証するものではありません。
“ひび割れ”が生じた結果について、弊社はその責は一切負いかねますので、あらかじめご了承の上ご使用下さい。

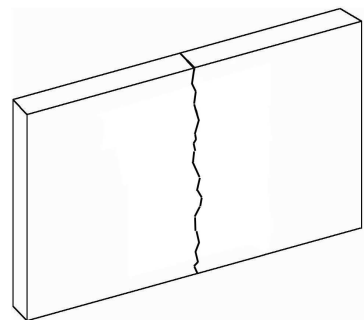
● 注意

1. テープは粘着剤付きですが、接着強化にNONCRA® テーププライマーを塗布の上貼着して下さい。
2. 使用するパテは下地との付着強さとヤセを考慮し、専用のNONCRA® C特性厚付用パテ、NONCRA® C仕上用パテを使用して下さい。
3. V目地のパテヤセを無くし、平滑仕上げ後にテープを貼着して下さい。
パテヤセを残したままテープを貼ると、テープ上のパテが筋状にフクレひび割れが出てしまいます。
4. テープ上は下地とのテープの固着強化、目地処理跡の隠ぺい、パテかひの作業性向上を兼ねNONCRA® 弾性コート、NONCRA® エポコート塗布して下さい。
5. テープ上のパテの厚付けは、塗られたパテのひび割れの原因となります。
6. 以下の場合、標準工程に追加してください。
①塩化ビニール樹脂エマルジョン仕上の場合、Step5の後で下地全面に変性エポキシシーラーを塗布してから仕上げして下さい。
②G.I.工法や硬質プラスターボード並びに1枚貼の横目地、未洗下地、木部、コンクリートとボードの取合

STEP 1

テープ接着面平滑仕上

前工程 既存クマ・塗膜剥し
 既存目地処理剥離
最重要 ・粉パテ使用の場合、研磨完全除去!!
 ・テープ接着面平滑研磨



テープ接着面当てペーパー掛け後～1液形変性エポキシ樹脂シーラー塗布
 塗幅：80～100mm
 粉パテの残留は、引き起こしの原因

注意 テープ接着面に凸凹が生じた場合

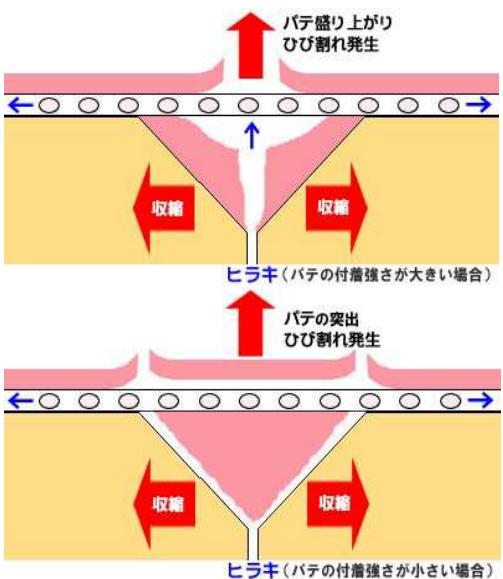
NONCRA® C仕上用パテ手滑仕上

しごき仕上 4号ヘラ使用 乾燥：2時間

●ノンペーパー

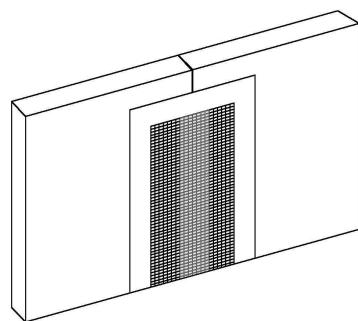
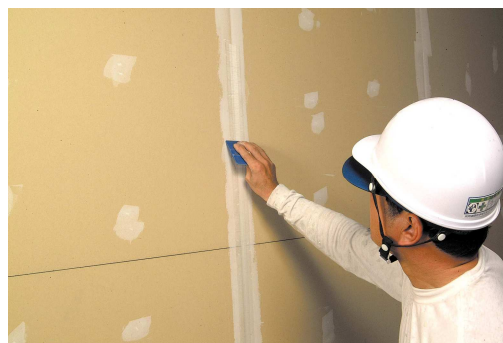
標準使用量：1,500m/12Kg缶：10L

乾燥：3時間以上確保



STEP 2

NONCRA® P・E テープ貼着



1回目 "NONCRA® プライマー" 塗布の上
手貼で継目中心に命中仮貼

- テープをたるませるとパテが割れます。
- 接着面の粗面、粉吹、湿り気は貼着禁止

2回目 **テープ本貼**～離けい紙剥し
専用フィルム用ヘラでしごき圧着

- 警告** ● 金ヘラ押しはテープが密着しません。
- 離けい紙剥離後の接着手抜きはテープのミミにひび割れ、浮きがでます。
 - テープのシワはしごき取ってください。

●「ステンレスばね鋼帯入テープの上手な貼り方」参照

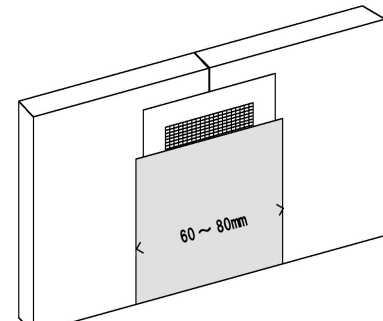
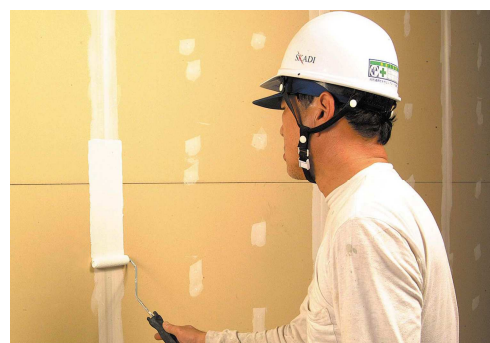
3回目 テープ ステンレス帯板両耳タッカー留付
 5cm間隔



塗板手順

STEP 3

NONCRA® テープ接着



弾性下地処理材塗

ウルタ短毛ミニローラー2～3インチ使用

目的：吸込止め全面塗削減、テープの付着力強化と隠ぺい、ミミ割れ・ひび割れ防止

1回目 NONCRA® 弾性球キ樹脂塗

2液反応速硬化、弾性引張伸び率110%
 塗幅：テープ上 60～70mm
完全ヘラしごき取り

標準使用量：50m/主剤250g+硬化剤250g

- 乾燥時間：1日以上厳守
- 硬化促進：1分以上強く攪拌し発熱させ～硬化開始まで練置き～塗布開始

警告 ● エポキシ樹脂硬化前に塗料・パテを塗るとカメノコ状亀裂が入る!!
 ● ミミを出さない。

●「球キ樹脂の取扱方法」参照

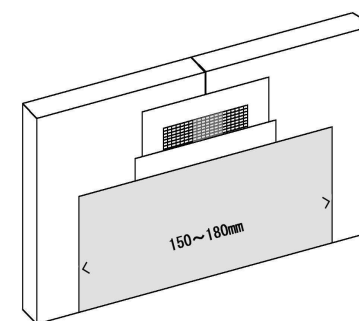
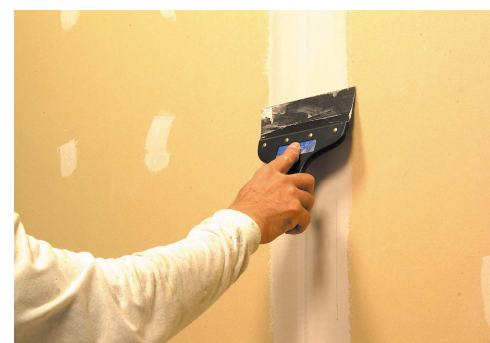
2回目 NONCRA® 弾性コート

無希釈 乾燥：夏季2時間以上乾燥確認

- ローラーの両耳は霧吹き状仕上げ
- 乾燥前にパテを塗るとカメノコ状亀裂が入る!!
- ミミを出さない。

STEP 4

仕上パテ塗



しごき仕上げ

NONCRA® C仕上用パテ塗

150～180mmヘラ (㊦ステンレススーパーシルバー) 使用

塗幅 150mm～180mm 乾燥時間：2時間以上

標準使用量：600m/12Kg缶：10L

平均塗厚：0.05～0.1mm (20g/m～35g/m)

- ガラスクロスが見え隠れする程度
- 厚付け厳禁 パテ割れの原因

“NONCRA® ひび割れ補修手順”について

本目地処理工法は、従来にないテープの強度と接着方式により、接合部の補強効果を発揮しますが、ひび割れが発生しないことを保証するものではありません。
“ひび割れ”が生じた結果について、弊社はその責は一切負いかねますので、あらかじめご了承の上ご使用下さい。

●注意

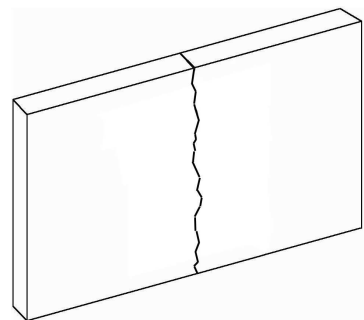
1. テープは粘着剤付きですが、接着強化にNONCRA® テーププライマーを塗布の上貼着して下さい。
2. 使用するパテは下地との付着強さとヤセを考慮し、専用のNONCRA® C特性厚付用パテ、NONCRA® C仕上用パテを使用して下さい。
3. V目地のパテヤセを無くし、平滑仕上げ後にテープを貼着して下さい。
 パテヤセを残したままテープを貼ると、テープ上のパテが筋状にフクレひび割れが出てしまいます。
4. テープ上は下地とのテープの固着強化、目地処理跡の隠ぺい、パテかきの作業性向上を兼ねNONCRA® 弾性コート、NONCRA® エポコート塗布して下さい。
5. テープ上のパテの厚付けは、塗られたパテのひび割れの原因となります。
6. 以下の場合、標準工程に追加してください。
 ①塩化ビニール樹脂エマルジョン仕上の場合、Step5の後で下地全面に変性エポキシシーラーを塗布してから仕上げして下さい。
 ②G.I.工法や硬質プラスターボード並びに1枚貼の横目地、未洗下地、木部、コンクリートとボードの取合

STEP 1

テープ接着面平滑仕上

前工程 既存クマ・塗膜剥し
既存目地処理剥離

最重要 ● 粉パテ使用の場合、研磨完全除去!!
● テープ接着面平滑研磨



テープ接着面当てペーパー掛け後～1液形変性エポキシ樹脂シーラー塗布
塗幅：80～100mm
粉パテの残留は、引き起こしの原因

注意 テープ接着面に凸凹が生じた場合

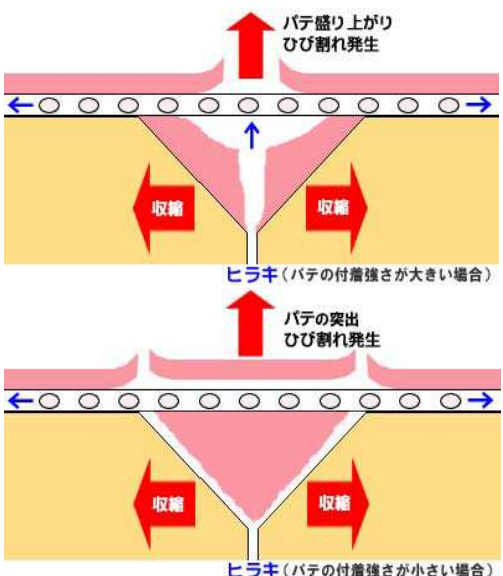
NONCRA® C仕上用パテ手滑仕上

しごき仕上 4号ヘラ使用 乾燥：2時間

● ノンペーパー

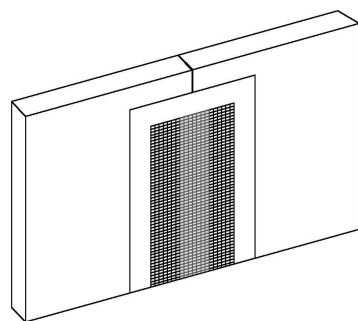
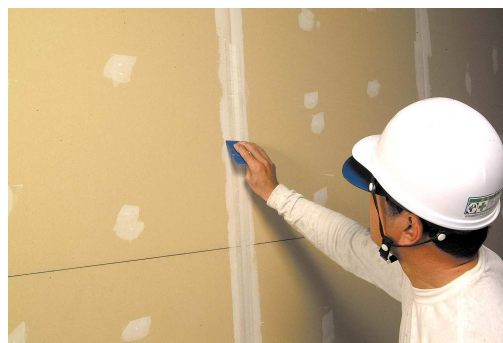
標準使用量：1,500m/12Kg缶：10L

乾燥：3時間以上確保



STEP 2

NONCRA® P・E テープ貼着



1回目 「NONCRA® プライマー」塗布の上
手貼で継目中心に命中仮貼

- テープをたるませるとパテが割れます。
- 接着面の粗面、粉吹、湿り気は貼着禁止

2回目 テープ本貼～離けい紙剥し
専用フィルム用ヘラでしごき圧着

- 警告 ● 金ヘラ押えはテープが密着しません。
- 離けい紙剥離後の接着手抜きはテープのミミにひび割れ、浮きがでます。
 - テープのシワはしごき取ってください。

● 「ステンレスばね鋼帯入テープの上手な貼り方」参照

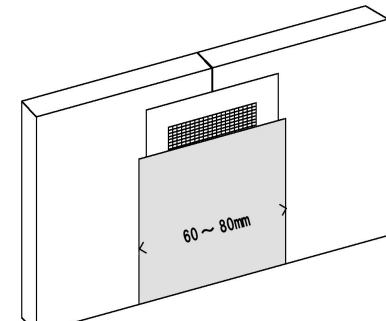
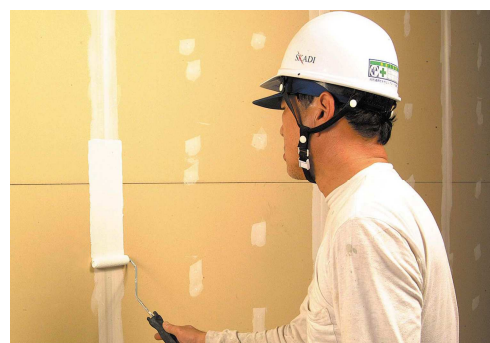
3回目 テープ ステンレス帯板両耳タッカー留付
5cm間隔



塗板手順

STEP 3

NONCRA® テープ接着



弾性下地処理材塗

ウルタ短毛ミニローラー2～3インチ使用

目的：吸込止め全面塗削減、テープの付着力強化と隠ぺい、ミミ割れ・ひび割れ防止

1回目 NONCRA® 弾性球キ樹脂塗

2液反応速硬化、弾性引張伸び率110%

塗幅：テープ上 60～70mm

完全ヘラしごき取り

標準使用量：50m/主剤250g+硬化剤250g

● 乾燥時間：1日以上厳守

● 硬化促進：1分以上強く攪拌し発熱させ
～硬化開始まで練置き～塗布開始

- 警告 ● エポキシ樹脂硬化前に塗料・パテを塗るとカメノコ状亀裂が入る!!
- ミミを出さない。
 - 「球キ樹脂の取扱方法」参照

2回目 NONCRA® 弾性コート

無希釈 乾燥：夏季2時間以上乾燥確認

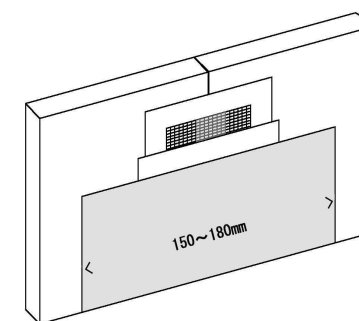
● ローラーの両耳は霧吹き状仕上げ

乾燥前にパテを塗るとカメノコ状亀裂が入る!!

● ミミを出さない。

STEP 4

仕上パテ塗



しごき仕上げ

NONCRA® C仕上用パテ塗

150～180mmヘラ (㊦ステンレススーパーシルバー) 使用

塗幅 150mm～180mm 乾燥時間：2時間以上

標準使用量：600m/12Kg缶：10L

平均塗厚：0.05～0.1mm (20g/m～35g/m)

- ガラスクロスが見え隠れする程度
- 厚付け厳禁 パテ割れの原因

「NONCRA® ひび割れ補修手順」について

本目地処理工法は、従来にないテープの強度と接着方式により、接合部の補強効果を発揮しますが、ひび割れが発生しないことを保証するものではありません。
「ひび割れ」が生じた結果について、弊社はその責は一切負いかねますので、あらかじめご了承の上ご使用下さい。

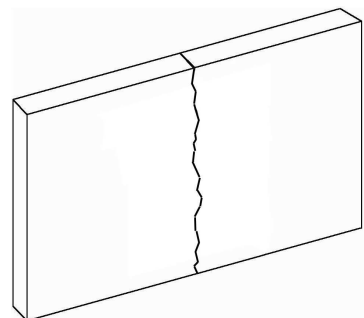
● 注意

1. テープは粘着剤付きですが、接着強化にNONCRA® テーププライマーを塗布の上貼着して下さい。
2. 使用するパテは下地との付着強さとヤセを考慮し、専用のNONCRA® C特性厚付用パテ、NONCRA® C仕上用パテを使用して下さい。
3. V目地のパテヤセを無くし、平滑仕上げ後にテープを貼着して下さい。
パテヤセを残したままテープを貼ると、テープ上のパテが筋状にフクレひび割れが出てしまいます。
4. テープ上は下地とのテープの固着強化、目地処理跡の隠ぺい、パテかきの作業性向上を兼ねNONCRA® 弾性コート、NONCRA® エポコート塗布して下さい。
5. テープ上のパテの厚付けは、塗られたパテのひび割れの原因となります。
6. 以下の場合、標準工程に追加してください。
①塩化ビニール樹脂エマルジョン仕上の場合、Step5の後で下地全面に変性エポキシシーラーを塗布してから仕上げして下さい。
②G.I.工法や硬質プラスターボード並びに1枚貼の横目地、未洗下地、木部、コンクリートとボードの取合

STEP 1

テープ接着面平滑仕上

前工程 既存クマ・塗膜剥し
 既存目地処理剥離
最重要 ・粉パテ使用の場合、研磨完全除去!!
 ・テープ接着面平滑研磨



テープ接着面当てペーパー掛け後～1液形変性エポキシ樹脂シーラー塗布
 塗幅：80～100mm
 粉パテの残留は、引き起こしの原因

注意 テープ接着面に凸凹が生じた場合

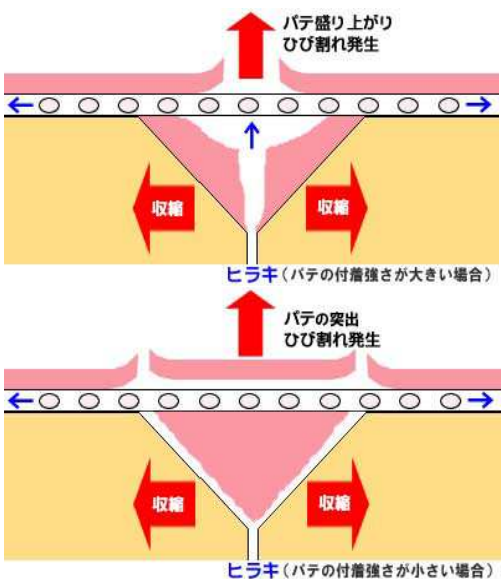
NONCRA® C仕上用パテ手滑仕上

しごき仕上 4号ヘラ使用 乾燥：2時間

●ノンペーパー

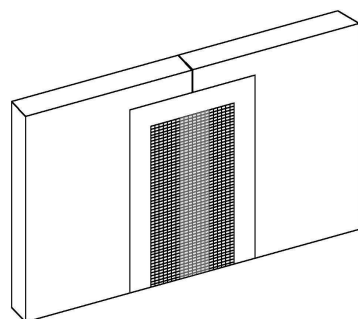
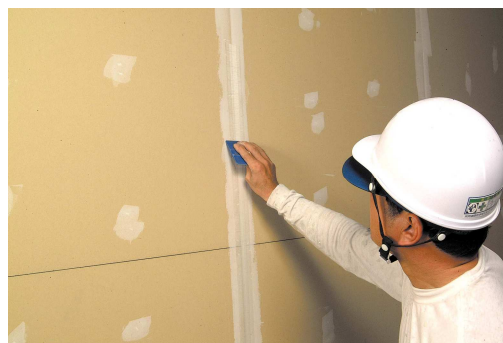
標準使用量：1,500m/12Kg缶：10L

乾燥：3時間以上確保



STEP 2

NONCRA® P・E テープ貼着



1回目 "NONCRA® プライマー" 塗布の上
手貼で継目中心に命中仮貼

- テープをたるませるとパテが割れます。
- 接着面の粗面、粉吹、湿り気は貼着禁止

2回目 **テープ本貼**～離けい紙剥し
専用フィルム用ヘラでしごき圧着

- 警告** ● 金ヘラ押しはテープが密着しません。
- 離けい紙剥離後の接着手抜きはテープのミミにひび割れ、浮きがでます。
 - テープのシワはしごき取ってください。

●「ステンレスばね鋼帯入テープの上手な貼り方」参照

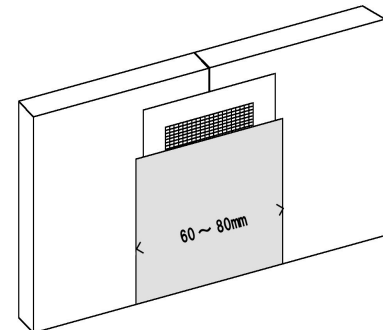
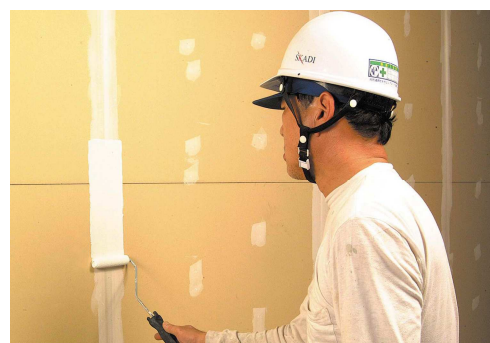
3回目 テープ ステンレス帯板両耳タッカー留付
 5cm間隔



塗板手順

STEP 3

NONCRA® テープ接着



弾性下地処理材塗

ウルタ短毛ミニローラー2～3インチ使用

目的：吸込止め全面塗削減、テープの付着力強化と隠ぺい、ミミ割れ・ひび割れ防止

1回目 NONCRA® 弾性球キ樹脂塗

2液反応速硬化、弾性引張伸び率110%
 塗幅：テープ上 60～70mm
 完全ヘラしごき取り

標準使用量：50m/主剤250g+硬化剤250g

●乾燥時間：1日以上厳守

●硬化促進：1分以上強く攪拌し発熱させ
 ～硬化開始まで練置き～塗布開始

警告 ● エポキシ樹脂硬化前に塗料・パテを塗るとカメノコ状亀裂が入る!!
 ● ミミを出さない。

●「球キ樹脂の取扱方法」参照

2回目 NONCRA® 弾性コート

無希釈 乾燥：夏季2時間以上乾燥確認

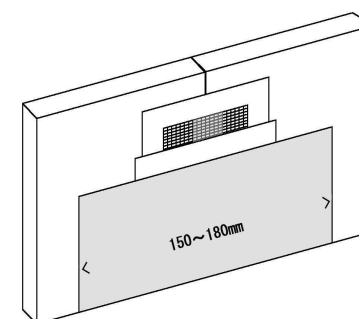
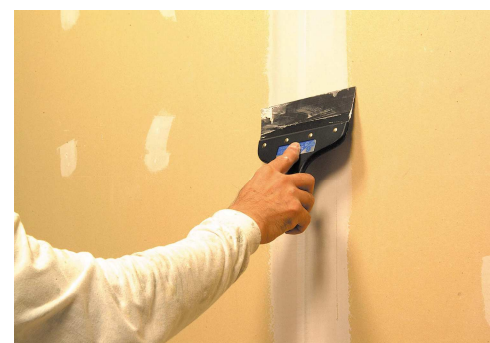
● ローラーの両耳は霧吹き状仕上げ

乾燥前にパテを塗るとカメノコ状亀裂が入る!!

● ミミを出さない。

STEP 4

仕上パテ塗



しごき仕上げ

NONCRA® C仕上用パテ塗

150～180mmヘラ (㊦ステンレススーパーシルバー) 使用

塗幅 150mm～180mm 乾燥時間：2時間以上

標準使用量：600m/12Kg缶：10L

平均塗厚：0.05～0.1mm (20g/m～35g/m)

- ガラスクロスが見え隠れする程度
- 厚付け厳禁 パテ割れの原因

“NONCRA® ひび割れ補修手順”について

本目地処理工法は、従来にないテープの強度と接着方式により、接合部の補強効果を発揮しますが、ひび割れが発生しないことを保証するものではありません。
“ひび割れ”が生じた結果について、弊社はその責は一切負いかねますので、あらかじめご了承の上ご使用下さい。

●注意

1. テープは粘着剤付きですが、接着強化にNONCRA® テーププライマーを塗布の上貼着して下さい。
2. 使用するパテは下地との付着強さとヤセを考慮し、専用のNONCRA® C特性厚付用パテ、NONCRA® C仕上用パテを使用して下さい。
3. V目地のパテヤセを無くし、平滑仕上げ後にテープを貼着して下さい。
 パテヤセを残したままテープを貼ると、テープ上のパテが筋状にフクレひび割れが出てしまいます。
4. テープ上は下地とのテープの固着強化、目地処理跡の隠ぺい、パテかきの作業性向上を兼ねNONCRA® 弾性コート、NONCRA® エポコート塗布して下さい。
5. テープ上のパテの厚付けは、塗られたパテのひび割れの原因となります。
6. 以下の場合、標準工程に追加してください。
 ①塩化ビニール樹脂エマルジョン仕上の場合、Step5の後で下地全面に変性エポキシシーラーを塗布してから仕上げして下さい。
 ②G.I.工法や硬質プラスターボード並びに1枚貼の横目地、未洗下地、木部、コンクリートとボードの取合